



職業能力開発局
実習併用職業訓練推進室
ジョブ・カード係(係員)

青野 賢司

(平成22年採用)

「職業安定行政で働きませんか」

パンフレットをご覧のみなさん、こんにちは。

私は平成21年10月から厚生労働本省にて勤務しています。それまでの学

校卒業後の4年間は、人材業界の民間企業で営業として働いていました。転職を考えていた時に、厚生労働省は医療や介護、雇用など幅広い分野を扱う中でも職業安定行政は雇用支援や職業能力開発など前職との共通点が多く、今までの経験なども活かしながら社会に貢献できる場所ではと思い、入省しました。

現在所属している室の業務は、フリーター等の正社員経験が少ない方などを対象に実践的な職業訓練などを通じて正規雇用を目指す「ジョブ・カード制度」という施策を所掌しています(事業仕分けの対象にもなりました...)。その中で私が担当している業務は、制度を事業主・求職者双方へ普及させていくための委託事業の連絡や調整などを行っています。実際の仕事は、委託事業の企画から予算の要求、契約から

精算に至るまでを担当するため、年間を通して様々な仕事に携われ、CMやポスターなどの広報活動を行ったり、会議に出席したりと日々勉強の毎日です。大きな責任とやりがいとともに、自分自身を成長させていくことができる職場だと感じています。

人々が暮らしていく中での基盤となる「働く」を支援する、身近な行政分野(職業安定行政)と一緒に働きませんか?みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



職業安定局総務課
予算係

伊藤 徳彦

(平成15年採用)

「ここでしかやれない仕事がここにある!」

私は新潟労働局で三年の勤務を経て、現在の部署で勤務をしております。業務内容は、外からはなかなか見えづらいですが、離職された方の失業給付や仕事を探されている皆様の早期就職に向けた施策など多種多様な事業予算(今年度の職業安定行政関係予算

は約3.4兆円)に不用な経費の計上がないよう局内担当課室との調整を行い、通常国会に提出を行う政府予算案を作成することを中心とした業務となります。精度の高い作業を求められますが、ハローワークによる職業紹介や雇用保険給付等の予算であり、国民の皆様に対し認知度の高い業務のため、日々やり甲斐を感じることもできる業務です。

そんな業務を行う職場の雰囲気は、全体的にとっても若い職員(気持的に若い方も含む)が多く、有志ではありますが、当時上司の発案を機に「総務課upp」なる総務課長を筆頭としたスポーツ大会を「健康促進・課内交流・楽しい懇親会」の3本柱とし開催もされております。初回開催時の雷雨に始まり全ての開催が晴天に恵まれず、幹事雨男説を囁かれながらも、和気藹々と休日に家族ぐるみの課内交流を行い、日頃のストレスをうまく発散するとともに、業務を介さず上司や先輩方と交流を持

つことで、自然と一体感が生まれ、それが業務における連携にもつながりとてもいい雰囲気がある職場だと思います。業務多忙な中でも、こういった場合は皆様にとってもいい機会になることと思います。

当省に興味を持たれた方!百聞は一見にしかず!最寄りのハローワークに是非足を運んでいただければ、必ずやり甲斐のある職場であることを実感していただけると思います。

未来ある若者が安心できる人生設計のための雇用整備をスタート地点とし、超高齢化社会といわれる現代における高齢者の雇用のあり方に至るまで、幅広い雇用問題について共に考え働きやすい社会を実現しましょう!

